

令和 3 年度 【 学園研究費助成金 < B > 】 研究成果報告書

学部名 現代マネジメント

フリガナ ウエ バヤシ シゲル
氏 名 植 林 茂

研究期間 令和 3 年度

研究課題名 信用保証協会の冗長性についての研究

研究組織

	氏 名	学 部	職 位
研究代表者	植林 茂	現代マネジメント	教授
研究分担者			
研究分担者			

1. 本研究開始の背景や目的等 (200 字～300 字程度で記述)

本研究の目的は、COVID-19 の感染拡大という危機時に、地域に複数の信用保証協会が存在するという冗長性が、危機抑止にプラスに働いたか否かを検証することである。2020 年からの当初 COVID-19 感染拡大局面では、懸念された中小零細企業の倒産の増加は比較的抑えられている。その一つの理由として 2020 年 5 月からの信用保証協会の保証が付いた制度融資「ゼロゼロ融資」が大きく増加し、これが奏功したことが指摘されている。ところで、保証協会は原則一都道府県に一つであるが、愛知県(名古屋市)、岐阜県(岐阜市)、神奈川県(横浜市、川崎市)の 3 県・4 市については、複数の信用保証協会が存在し、冗長性が満たされている。そこで、今次危機局面において保証協会の冗長性が機能したか否かを明らかにしようとした。

2. 研究の推進方策 (300 字程度で記述)

第一に、信用保証についての冗長性が、なぜ例外的に一部地域のみで満たされているかを、歴史的なアプローチにより明らかにする。具体的には、公的信用保証制度の歴史的経緯をクロノジカルに明らかにすることで、現状、愛知県(名古屋市)、岐阜県(岐阜市)、神奈川県(横浜市、川崎市)の 3 県、4 市のみにおいて複数の信用保証協会を利用できる保証機関の冗長性が満たされている背景・経緯を明確にする。

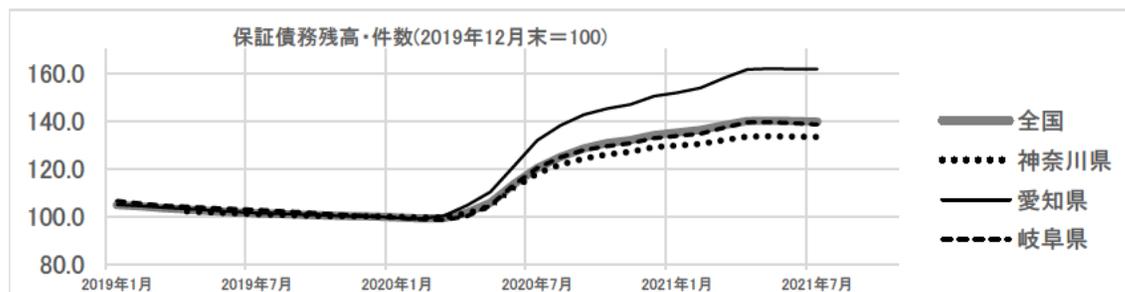
第二に、2020 年からの当初 COVID-19 感染拡大局面において、冗長性が満たされた地域が、全国平均と比べて保証付き融資が大きく増加したか、他地域と比べて多種多様な商品が販売されたか、該当する地区の信用保証協会の業容など、事実関係を明らかにする。

第三に、計量的な手法(パネル分析等)により、検証を行い、冗長性(複数の信用保証協会が利用できる状況)について効果があったのかどうかを判断する。

3. 研究成果の概要 (600字～800字程度で記述)

冗長性が満たされた地域の経緯をみると、概ね産業が盛んで市ベースの信用保証協会の設立が先行した場であることが判明。もっとも、大阪市、能代市については統合されている。

コロナ禍における保証債務残高の金額につき信用保証協会の冗長性が満たされる3県と全国とを比較すると以下のようになり、冗長性が満たされる3県のうち、愛知県は全国より高い伸びとなっているものの、岐阜県は概ね全国並み、神奈川県は全国比劣位にあることが判明。



もっとも、説明変数を絞った形で以下の推計式を構築し、パネルデータによる分析を行うと、冗長性の程度を示す説明変数のみが有意(=複数の保証機関が存在した地域、すなわち冗長性が満たされていた地域が保証残高が増加する)で、それ以外の説明変数については明確に有意なもののみはみられなかった。

$$L(\text{保証債務残高}) = \alpha_0 + \alpha_1 CI(\text{景気動向指数、景気要因}) + \alpha_2 Dr(\text{金利差、金融機関競争要因}) + \alpha_3 HHlofCG(\text{保証残高のハーフィンダール・ハーシュマン指数、冗長性要因})$$

上記推計式を始めとする分析から、一つの地域の二つの保証協会がある場合、完全に棲み分けのではなく健全な競争が必要なことなどが、インプリケーションとして示された。

4. キーワード (本研究のキーワードを1項目以上8項目以内で記載)

①冗長性	②信用保証協会	③COVID-19	④公的信用保証
⑤危機時	⑥フォールトトレランス	⑦高信頼性理論	⑧バイオミクリー

5. 研究成果及び今後の展望 (公開した研究成果、今後の研究成果公開予定・方法等について記載すること。既に公開したものについては次の通り記載すること。著書は、著者名、書名、頁数、発行年月日、出版社名を記載。論文は、著書名、題名、掲載誌名、発行年、巻・号・頁を記載。学会発表は発表者名、発表標題、学会名、発表年月日を記載。著者名、発表者名が多い場合には主な者を記載し、他〇名等で省略可。発表数が多い場合には代表的なもののみ数件を記載。)

【論文発表】

・植林茂 [2022] 「コロナ禍における信用保証協会の冗長性についての一考察」『社会とマネジメント 第19巻』 p.p.1-33、2022年3月

【研究発表】

・第24回放送大学大学院比較地域研究会「COVID-19発生初期下での銀行貸出における信用保証協会の冗長性について」2022年9月開催予定